

# 有限会社サンコー装芸

平成  
27  
年度

事業計画名 **最新型レーザー加工機を活用したアクリル加工工程の生産プロセス革新事業**

## DATA

代表者名 代表取締役 三井寺 弘介 設立 2004年5月 資本金 300万円 従業員数 3名  
 実施場所 〒020-0617 岩手県滝沢市湯舟沢533-3 事業内容 各種看板製作、アクリル加工、NC加工、レーザー加工  
 TEL.019-694-1225 FAX.019-694-1226  
 E-mail . sanko-28@amber.plala.or.jp

## 大型サイズに対応するレーザー加工機を導入。顧客のニーズに応える生産体制を構築

同業他社との差別化を図り、競争力を向上させるため、大型サイズに対応する最新型レーザー加工機を新たに導入。受注機会の逸失、外注への依存、納期の長期化などの課題解決に取り組んだ。

## 課題解決に不可欠だった新レーザー加工機の導入

2004年に創業した当社は、アクリルや木製品の加工、各種看板製作を行っている。受注は主に得意先数社からの下請けであり、そのなかで看板や掲示物、トロフィーなどのアクリル製品の加工が全体の6割を占めている。

アクリルの加工には数年前に購入した加工機を使用していたが、この機械の加工可能範囲は740mm×460mmだったため、これを超えるサイズの製品の問い合わせがあった際は、受注を断るか、他者に外注している状況であった。また材料となる大型アクリル板の規格が1,800mm×900mmであるため、保有している加工機にセットするには余分な部分をカットする必要があり、その部分は廃棄となるため歩止まりが悪く、原価率の高さにもつながっていた。

これら受注機会の損失や外注による納期の長期化、材料ロスをなくし効率的な加工体制の構築と売上向上を図るため、加工範囲の広い最新型レーザー加工機を



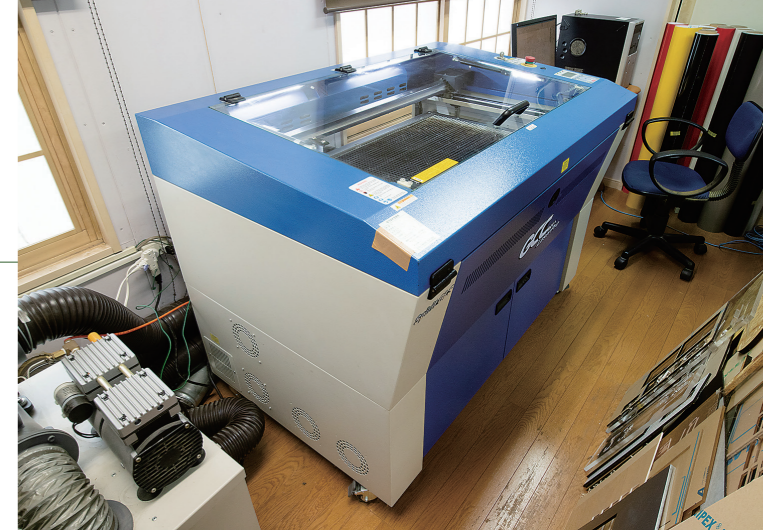
各種看板のほか、レーザー加工機を使った、アクリルや木製品の加工を手がける。トロフィーなどのアクリル立体彫刻製品の引き合いも多い。

導入することとした。

## 大型サイズに短納期で対応、原料ロスも削減

本補助事業を利用し、最新型レーザー加工機を従来機と入れ替える形で新たに導入した。新しい加工機は、高度な情報処理及び機械制御技術により、従来機より高速で加工精度を保ったまま、多くの種類の加工を自動で行うことができるものである。

加工可能範囲は960mm×610mmと大幅にアップし、大型サイズの商品に対応できるだけでなく、1,800mm×900mm規格の原材料板を3等分してセットできるため、これまで廃棄せざるをえなかったアクリル板の端の部分まで有効に活用することもできる。また従来機より高出力のレーザーを備えているため、厚手



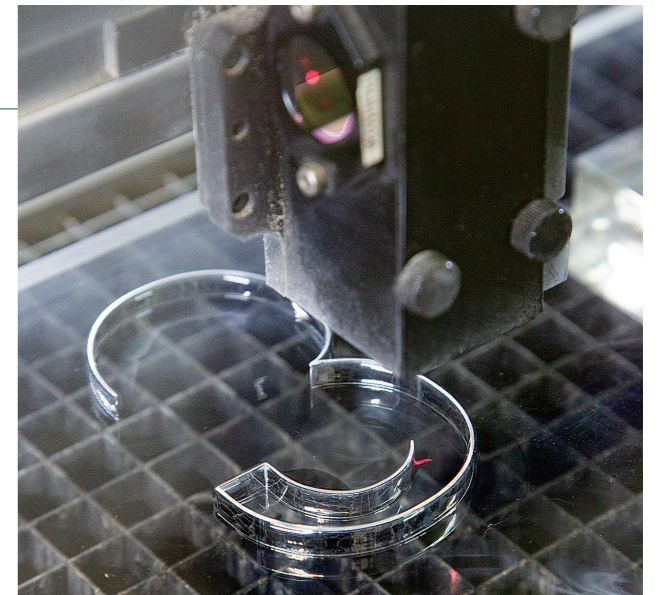
本事業で導入した最新型のレーザー加工機。加工可能範囲は960mm×610mmで、これまで自社で製造できなかった大型サイズの加工が可能になった。

のアクリル板の加工も可能となり、加工スピードも向上し、より美しい仕上がりが得られるようになっている。

## 顧客のニーズ、信頼に応えられる製造工程に

最新型レーザー加工機の導入により、これまで対応の難しかった大型サイズの製品を受注することができるようになり、受注件数も増えてきている。また外注することなく、自社内での製造が可能となったことから、輸送などにかかるタイムロスがなくなり、納期の短縮を図ることもできた。受注から発送まですべて自社の職人が行うことにより、クライアントの求める精度や仕上がりに責任を持って応えることができるようになり、顧客信頼度の向上にもつながっている。

加工機の性能向上により加工スピードもアップし、納期、量産の面からもクライアントの要望にきめ細かく対応できる状況が実現されている。



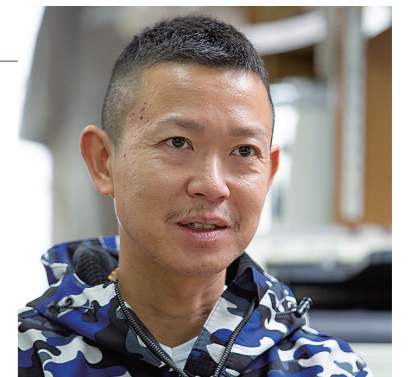
導入した設備は、高度な情報処理及び機械制御技術を搭載。レーザー出力も向上したことから、より精度の高い製品を短時間で加工できるようになった。

## 他社との差別化を図り、受注増につなげていく

看板製作やアクリル加工を行う同業他社は県内だけでも100社を超え、そのなかで安定的で継続的な経営を行うためには、他社との差別化が必須である。

新たな加工機の導入により、「大型サイズの注文に対応してほしい」、「高品質な製品を短納期で納めてほしい」、「コストを下げしてほしい」という顧客の声に応えられる生産体制を整えることができた。現在、大型サイズに対応する加工機を所有している事業所は少なく、新たに整備した設備と生産体制を自社の強みとして得意先にアピールし、受注の増加へとつなげていきたい。

また、加工機の性能アップにより立体造形技術も向



代表取締役の三井寺弘介さん。「得られた利益は今後、人員増強や設備に投下し、中長期的な会社の成長へとつなげたい」と話す。

上したため、レーザー彫刻を施したアクリルトロフィーや木製小物など、取り扱い商品のさらなる高精度化、新規開発にも力を入れていきたいと考えている。